

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		c o c o虹(放課後等デイサービス)				公表日	2025年 1月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		人数や活動内容によって部屋を分ける、2グループに分けるなど工夫しています。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5		基準よりも多く配置しています。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5		施設は玄関以外バリアフリーになっており、部屋ごとに名前を付けたりクールダウン場を設けたり構造化は図っています。	障害の特性や年齢等、その時々に必要な物品や環境上の配慮は今後も検討し実施していきます。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5		児発と放デイで一緒に過ごす時間もあれば、別れて活動する時間も設けて過ごしやすい空間であるよう配慮しています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		クールダウン場や個別療育をする際は部屋や場所を分けて使用しています。	必要に応じてパーテーションを増やすなど工夫していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		ミーティング等で問題や解決したいことについて話し合いをしています。	パート職員が不参加となる時間帯が多いため、固定にせず時間の調整が出来る場合は臨機応変に対応していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価表のご意見や感じられている思いを確認し、改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		個人面談や職員同士の意見交換をしながら改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		第三者は屋島地区で委員をされている方に依頼しています。また担当税理士の方からも助言等いただいています。	いろいろな方からのご意見を参考に施設運営をおこなっていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		定期的な内部研修や外部の研修に参加しています。その時々には欲しい情報をもとに研修を組んでいます。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		作成しHPで公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		ニーズや課題の把握と、学校や家庭での様子をお聞きし分析し見通しを持った支援計画を立てるようにしています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		モニタリング内容や個別に確認しながら作成検討しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援方針や短期長期目標に沿って支援しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		メモやシステム内やPC内に記録し保管しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		地域支援や地域連携については学校や訪問看護ステーション、コミュニティセンター等の地域の方に周知、理解を得ながら支援に繋がっています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		個人の得意なことや交えながら、職員で意見を出し合いながら立案しています。	日常生活・体験活動・運動・音楽・製作で組んでいますが、今後他にも取り入れられるものがあれば取り入れていきたいと思っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		日常生活・体験活動・運動・音楽・製作をまんべんなく設定し、内容を工夫しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		年齢や発達状況、ニーズに合わせて個別課題を組み、集団活動では保育施設であるような内容を取り入れています。	こどもたちの状況に応じて変更や見直しは常におこなっていきたく思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝のミーティングで内容や準備するもの、担当を決めています。必要であればボードにも記載しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援後に時間を設けて情報共有しています。18時まで利用者がいた場合は重要な事案のみ共有し、翌朝に報告し合っています。	翌朝の場合は伝え忘れないよう、個人個人で対策を取りたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録は残しており、支援の見直しや手立てに繋げています。また連絡帳の内容も確認しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリングや職員との意見交換をおこない、継続する部分と見直し修正する部分は判断し作成しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		①自立と日常生活にあたる内容②創作活動③地域交流④余暇提供を交えて支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		言葉で言う場面や選択肢を与えて選ぶ場面などを日々の中で設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管または前児発管が参加しています。理学療法士からの言葉を預かって伝えたりもしています。	必要に応じて理学療法士が参加することも取り組んでいます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		地域の訪問看護ステーションや障害福祉、学校と連携をとっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎時の対応は保護者の方に依頼し、お迎え時に学校生活・事業所のことなど情報共有をおこなっております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		就学時に契約した方は必要であれば連携の場を設けています。	今後必要であればおこなっていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		これまでそういった方がいなかったため、していない。	今後対象の方がいた際はおこなっていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		センター主催の研修や連絡会にさんかして、情報の取得をしています。	個別で連携を図ったことはないのですが、今後は必要に応じてしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		地域の公園の遊具で遊ぶときなどに関わったり、田植えイベントで地域枠を設けて交流の場を設けたりしていました。	現在児童館等の交流はなく、模索中です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		可能な限り参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や必要に応じて個別でお声がけさせていただきながら共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		災害時について保護者向けの研修を開催、また児発の日には家族支援の場を設けました。	気軽にご相談できるような場や保護者の方がイベント以外でも交流できる場を提供できるよう検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時にお時間をいただき丁寧におこなっています。	変更等があれば都度周知していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		ご意向は見直しの際に確認し作成しています。	こどもの最善の利益については奥深いため、しっかり検討しながら作成していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		施設内に入ってください説明と同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		面談時をメインにおこなっていますが、必要に応じて送迎時に施設内に入ってください助言や支援をおこなっています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		今年度は家族きょうだい参加のクリスマス会を開催しました。	親子で楽しめるイベントを今後も検討しながら開催していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情はありませんが、駐車場に関してのご意見があった際は迅速に対応し周知しました。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HUGシステムやSNS投稿で発信しています。	SNS投稿では個人情報に十分注意していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		退職後も守秘義務があることを雇用契約に入れています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個別で視覚支援のカードやボードの使用、送迎時の個別のやりとりでコミュニケーションを図っています。	必要に応じて柔軟な対応をしていきたいと思っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		招待ではありませんが、マルシェの開催や地域のコミュニティセンターを使用したことで地域に事業所の周知を図っています。	多方面から地域の理解と協力を得ながら施設運営をしていきたいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		訓練をした時は連絡帳や玄関掲示で報告しています。	事前周知やSNS投稿なども今後取り入れていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		避難バッグの中の見直しなどもしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に確認し、必要であればてんかん発作時の薬を預かっています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		検査結果や医師の指示書のコピーを預かっています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		日常の衛生面・食事面・台風時・緊急時・活動時など項目に分けて記載しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約の時に計画に記載している内容を交えながら説明しています。	交流の場などで周知する機会を設けていきたいと思っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットのファイルを用意し再発防止に向けて取り組んでいます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修や虐待防止委員会を開催しています。	研修の内容が固定化しないよういろいろな事案検討を取り入れるなど工夫していきたいと思っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		組織での検討と同意を得て、支援計画に記載してからおこなっています。		